



# SAKIGAKE

～例会のご報告とご案内～



■ ASPACに参加して ■  
70周年準備委員会 副委員長 関 康彦 君

JCIでは世界を、エリアA(アフリカ)、B(アジア・太平洋)、C(北米・ラテンアメリカ)、D(ヨーロッパ)と4つのエリアに分けています。そして5/6月頃、エリア毎にそれぞれ毎年開催地を変えてエリア会議を行います。日本JCIが所属するエリアBで開催される会議のことをJCI Asia Pacific Area Conference(略称ASPAAC)と呼んでいます。ASPAACは、毎年国内外からおよそ1万人のJCIメンバーが参加する大きな大会です。昨年の鹿児島開催のASPAACには、海外から2131名、国内から6276名、合計8407名のメンバーが参加されました。さて、6月18日(土)20日にかけて、益子顧問のセクとしてASPAACに参加しました。ジャパンサイトの中で関東地区協議会をはじめ、関東地区の日本酒を振舞うブースを出展し、鎌田会頭をはじめとする、たくさんの方のメンバーに関東のお酒を飲んでいただけました。

参加して感じたことは、会議の規模が大きいこと、行くだけでさえ学びになる、得るものが多い大会でした。また、今後の仕事に活かすために一人朝早く、建築物の見学にも行きました。まだ海外ミッションに参加したことのない方も一度は参加してみることをお勧めします。

青少年研修委員会 委員 横山 真明 君

アスパック期間中であります6月19日午後12時30分より韓国済州島「真つ黒豚」において翌朝3名、嘉義11名、台湾8名、廣津3名、カンボジア12名そして水戸13名によるアスパックランチミーティングを行いました。まずは各JCIによる乾杯から始まり、各テーブルでは英語、中国語、日本語など様々な言語での雑談やお互いの活動などの情報交換が飛び交い、テーブルに並べられた韓国料理のサムギョプサルを堪能しながら、韓国流のお酒の飲み方をたしなみました。また嘉義JCIとは8月第1例会の日時、内容を改めて再確認し、8月2日水戸で再開することを誓いました。また、嘉義訪問は11月23日に来てほしいとの依頼もあり、嘉義の地で会うこともお約束いたしました。

今回各国たくさんの方のJCIメンバーで囲み、非常に楽しいランチミーティングでありました。8月水戸に来訪されたときは水戸の素晴らしいところを知ってもらい、私たちがまたビオカドリオンを楽しみに、より一層親睦を深めていきたいです。

■ 今月の先駆ける！ 出向者 ■

日本青年会議所

サマーコンファレンス特別運営委員会 委員 川辺 賢一 君

今年のサマコンは、履もがワクワクして行きたいと思える新しいサマコンを実施する」という当委員会の運動方針のもと、「World SDGs Summit」をテーマとして、日本一SDGsを推進する団体としての政策発信を行ってまいります。普段は聞けないフォーラムやセミナーも充実しておりますが、今年は市民参加型体験型の新しいサマコンを目指し、SDGsを体感できるeSPORTS PARKや障害者でも参加できるeSPOOTS JCIメンバーの家族向けにクルージングなどの事業を展開してまいります。そして多くの市民やメンバー家族まで巻き込みたいという思いから、全日程、ドレスコードはサマコンカジュアル(Tシャツ・ハーフパンツOK)を推奨させていただきます。ぜひ20日(土)、21日(日)は多くのメンバーで横浜の地に駆けつけ、新しいサマコンを共に創り上げて参りましょう！

## 今月のSDGs-8月第1例会「提灯やぐらFES」のSDGsゴールとターゲット～



- 11. ～都市と人間の居住地を包括的、安全、強靱かつ持続可能にする～
- 11.3 2030年までに、包括的かつ持続可能な都市化を促進し、すべての国々の参加型、包括的かつ持続可能な人間居住計画・管理の能力を強化する。
- 12. ～持続可能な消費と生産のパターンを確保する～
- 12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境的に確かな科学部室や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。



### サマコンカジュアル



サマコンカジュアル(男性) ※着: マナー 不要。上履: 草履・ネクタイ・襟付シャツ・バジッ・ブレート 可。Tシャツ・ハーフパンツ(短パン・サンダルNG)  
サマコンカジュアル(女性) ※着: マナー(襟元に肌が出る服装はNG) 可。サンダル(ビーチサンダルNG)

■ 次回例会案内 ■  
まちづくり委員会 副委員長 松谷 誠之 君  
他 委員一同

8月の第一週に開催される提灯やぐらFESでは、水戸黄門祭りの恒常化の傾向を打破し、地域住民の皆様に黄門祭りの良さを再認識してもらえよう、古原委員長、早川副委員長を中心に委員会メンバー一丸となって構築してきました。MY提灯づくりでは地域資源でもある水府提灯を使ってオリジナルの提灯を作ってもらうことにより、水府提灯の新たな魅力を感じてもらい、タビオカミルキー販売では嘉義JCIや茨城台湾華僑協会と一緒に参加者に涼を届けます。また水戸水FESでは、水戸市長も以前からやりたいと言っていた水を使った参加型の事業を利用して楽しい時間を作ります。その他にも水戸提灯盆踊りではオリジナルの楽曲や振付で新しいスタイルの盆踊りを創出します。このように他団体との共催、水戸市との連携だけではなく様々な試みがある本例会は水戸青年会議所メンバーの皆様のご協力なくしては成功することができません。一緒に水戸黄門祭りを盛り上げましょう。当日は暑くなるのが予想されるので体調に気をつけながらご参加ください。

8月第1例会 提灯やぐらFES  
日時: 8月3日(土) 9:00-21:00  
8月4日(日) 9:00-20:00  
会場: 南町自由広場  
茨城県水戸市南町1-1-1

夏祭 × 水戸祭 × 出店いっぺん時代まつり  
Summer Dream Festa  
水戸の南町自由広場を2ニカが結ぶ  
2019.8/3@8/4@  
8/3 10:00～21:00  
8/4 10:00～20:00  
南町自由広場

■ 仮入会員の紹介 ■

仮入会員 齊藤 龍司 君

19年度仮入会の齊藤龍司です。2月に面接を行って以降、さまざまな所で水戸JCIの流れを学んでいる最中でございます。入会前、私の気持ちは「任事では忙しいのにJCI活動など出来ない。せいぜい3/4年活動すればいいだろう」と考えておりました。しかし、JCIメンバーの先輩方と話す機会や活動を通して少しずつではありますが、気持ちが変わってきました。また、なにより同期とはじめて臨んだ8月例会は、数ある中の1つのブースではありますが、互いに助け合いながら活動出来たこと、一丸となって成功を収められたこと。これは、何にも代えがたい経験になりました。これからもっと大変なことがあるかと思いますが、この仲間たちと乗り越えていきたいと思いましたが、まだまださらぬ点もございいますが、今後とも宜しくお願い致します。

仮入会員 佐藤 慶貴 君

私は茨城県で老舗の花店「花の店サト」の四代目です。元々は家業中心の生活であったこともあり、JCIに対してあまり興味を持っていません。偶然としたイメージを持っていただけに、しかし、実際はJCIに入会した後の方が、家業とまっすぐ向き合えていきます。変化の多いこの時代、あらゆるノウハウが変わり、一から手探りとなっていくことを悩みとしている後継者は多いと思います。その中でJCIの大きな事業を進めていくまでの過程、段取り、計画、意思決定の方法などは、自身の家業のやり方を振り返る大変貴重な勉強となっております。地域貢献・奉仕活動も、人の役に立ちたかった初心を思い出さず、モチベーションとなっており、まだまだ入ったばかりの私ですが、このような経験ができるJCIは、決して人生の寄り道ではないと、そう思っています。